

公立中学校における休日部活動の地域移行

国の動向

現在の学校部活動

① 意義

- 豊かな人間性の育成、人間関係の構築、責任感・連帯感の涵養
- 技能習得に向けた努力や成果を通じた自己肯定感の向上
- 生涯にわたりスポーツ・文化芸術に親しむ機会へのつながり など



② 課題

- 生徒数の減少に伴い、学校単位での部活動の維持が困難
- 競技経験のない教師の指導や休日の指導などが大きな業務負担
- スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が不十分 など

③国における部活動改革の方向性（令和2年9月）

- 令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行
- 休日に教員が指導に携わらない環境を構築
- 生徒が、多様なスポーツ・文化芸術活動に参加する環境を整備 など

④部活動の地域移行に関する検討会議からの提言（令和4年）

- 地域移行の目標時期は、令和7年度末を目途
- 総合型地域スポーツクラブ、クラブチーム等への移行を想定
- 指導者は、民間クラブなどの指導者、退職教員、教員の兼職兼業 など

生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現

地域移行の目的

- 子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保
- 教員の働き方改革の推進 など

地域移行の課題

- 運営団体の確保
- 指導者の確保・処遇
- 保護者の費用負担
- 地域移行への理解促進
- 大会参加の在り方 など

（参考）山梨県
R4公立中学校部活動数
運動部 1,059部
文化部 181部

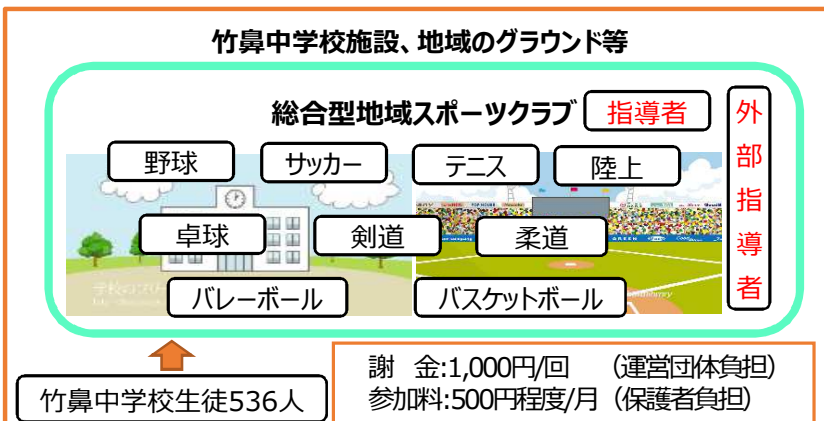
県の取組

目指す姿

事例Ⅰ 地域のスポーツクラブが運営する場合

岐阜県羽島市立 竹鼻中学校

- ・令和3年4月から、休日の運動部活動を総合型地域スポーツクラブに移行
- ・休日における活動は、希望する生徒のみが参加
- ・平日の部活動や休日の大会参加は、引き続き学校の部活動として実施



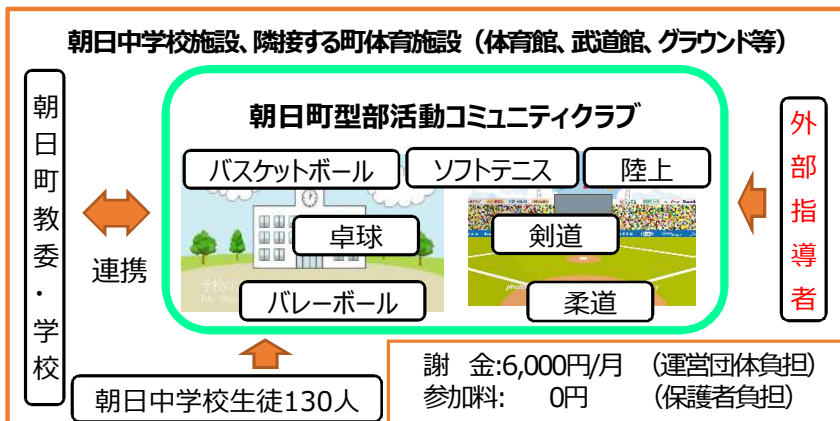
- ・地域クラブ活動を担う望ましい指導者の育成
- ・部活動顧問とクラブ指導者や保護者との連携
- ・保護者負担（当番・費用）在り方※
- ・指導者謝金の適正化及びクラブ運営費の財源確保※
- ※保護者の費用負担は、半数以上の保護者が適正であるとしているが、指導者の謝金は、指導者の半数以上が少ないと感じている。

課題・展望

事例Ⅱ 市町村が地域と連携して運営する場合

富山県朝日町立 朝日中学校

- ・令和3年4月から、学校部活動の一部を地域クラブの活動に移行
- ・地域クラブ活動の指導者は、原則、従来より学校部活動の指導に関わっている部活動指導員競技協会役員等であり、学校部活動との連携に取り組む



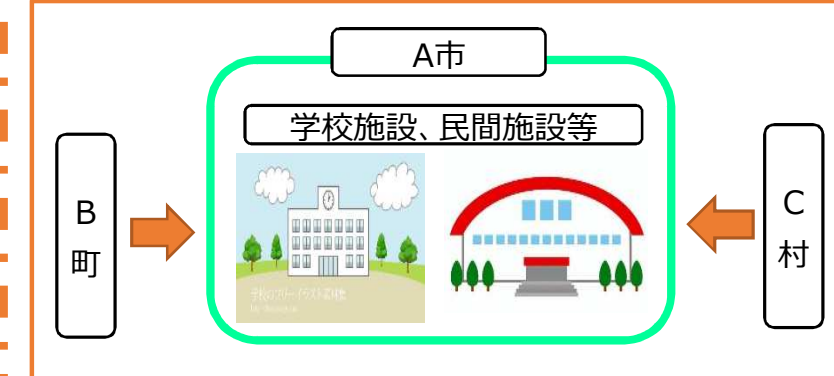
- ・地域クラブ活動を担う望ましい指導者の育成
- ・平日の地域移行を見据えた指導者確保
- ・指導者への謝金など受益者負担の在り方（国の委託事業により参加負担なし）
- ・地域の指導者が学校部活動に関わる機会を拡充
- ・地域移行に係る補助金の活用
- ・クラブ指導者による小中学校体育連盟の主催大会への引率に関する検討

課題・展望

事例Ⅲ 複数市町村が合同で運営する場合

新潟県等が検討中

- ・令和5年度以降の地域移行に向け、一町一校や小規模校など地域スポーツ・文化芸術活動への参加生徒が少ない地域があると想定
- ・近接する市町村間において、行政が活動ニーズや活動場所などを調整しながら、市町村が連携した合同地域スポーツ・文化芸術活動を推進



- 左記の課題等に加え、
- ・生徒の移動手段
→遠距離のため保護者等への負担増加（公営バス等の配車）
- ・参加料などの調整
→参加回数の減少（遠距離等の理由）
→公的財源の取扱い

課題・展望